

1 学級概要

【学校名】羽村市立羽村第三中学校
【学級名】F 組（特別支援学級〔自閉症情緒障害・固定〕）
【所在地】〒205-0021 東京都羽村市川崎697-1
TEL 042-555-5131（代表）
042-555-5135（F 組直通）
FAX 042-555-5042
【校 長】木田 兼治 【副校長】原 泰介
【担 任】主幹教諭 1 名 主任教諭 1 名 教諭 1 名 非常勤教員 1 名
【講 師】国語科 数学科 技術科 家庭科

【介助員】3 名
【学級数】3 学級
【生徒数】17 人

	男子	女子	計
1 年	5	5	10
2 年	3	0	3
3 年	3	1	4
計	11	6	17

2 教育目標

（1）学校の教育目標 ～広い視野をもち、創造性豊かな人を目指して～
かしこく 〈自ら考え、進んで学ぶ人になろう〉
やさしく 〈心豊かな、思いやりのある人になろう〉
たくましく 〈心と体を鍛え、前向きに生きる人になろう〉

（2）学級の教育目標 ～生徒一人一人の自己の実現を目指して～
・社会生活に対する意欲を高め、状況に応じて主体的に行動することのできる力を育てる。
・自己理解を深め、自尊感情を高めるとともに、自他を大切にできる心情を育てる。
・基礎的な知識や技能、体力を身に付け、問題を主体的に解決する力を育てる。

（3）学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

・互いの個性を尊重し、相互に学び合いながら、人権尊重の精神を育むとともに思いやりの心や社会生活の基本的なルールを身に付け、社会貢献の精神を育み、自立に向け配慮する。
・話し合いの場やトライアンドエラーの場を設け、生徒が自ら考え、判断し、適切な行動ができる資質や能力を育成する。また ICT 機器を活用して、個に応じた指導を行い、基礎的な学力の確実な定着を目指した適切な学習指導を行う。
・市内小・中学校特別支援学級と連携して特別支援教育を推進し、児童・生徒の個性と創造力を伸ばし生きる力を育むために、より良い小中一貫教育の在り方についての実践を進める。
・ユニバーサルデザインの考え方に基づく教育実践を行い、多様な教育的ニーズに配慮しながら、個別最適化を目指した支援を行うことで、一人一人が「分かる」授業を展開する。

（4）特色ある教育活動

- ・個々の状況に応じ、教育的ニーズに配慮した支援を行うため、生徒の実態を把握し、保護者との綿密な話し合いの上で個別指導計画を作成する。
- ・羽村市の特別支援教育を担う専門機関であるという自覚のもと、小中一貫教育の実施とともに、個別の教育支援計画を活用し、地域の医療機関等との連携を深める。
- ・生徒が楽しく安全に通える学級を作るために、日課帳や学級通信を通して、学校と家庭での様子について連絡を密にし、保護者との連携を図る。

3 主な年間行事 ※例年は以下のように行っています。

1 学期 始業式、入学式、保護者会、身体計測、3 年生修学旅行、体育大会、1 学期定期考査、特別支援学級球技大会、教育相談、終業式
2 学期 始業式、教育面談、1 年生校外学習、F 組校外学習、2 学期定期考査、合唱コンクール、F 組職場体験学習、三者面談・進路面談、職場体験学習発表会、終業式
3 学期 始業式、1 年生スキー教室、特別支援学級発表会（舞台発表の部）、学年末考査、保護者会、卒業式、修了式、離任式

4 時間割

	月			火			水			木			金		
学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
8：30～ 8：40	くすの木タイム（朝読書）														
8：40～ 8：50	朝学活														
1 8：50～ 9：40	学活	学活	学活	保体	保体	保体	道徳	道徳	道徳	保体	保体	保体	保体	保体	保体
2 9：50～ 10：40	数学	国語	社会	社会	家庭	家庭	美術	理科	理科	家庭	美術	美術	総合	総合	総合
3 10：50～ 11：40	国語	社会	数学	国語	社会	英語	理科	英語	社会	技術	社会	英語	理科	英語	社会
4 11：50～ 12：40	社会	数学	国語	英語	理科	国語	総合	総合	総合	社会	英語	国語	国語	国語	英語
	給食（12：40～13：10） 昼休み（13：10～13：25）														
5 13：35～ 14：25	音楽	音楽	音楽	数学	技術	技術	自立	自立	自立	自立	数学	数学	英語	理科	理科
6 14：35～ 15：25	英語	理科	理科	理科	数学	数学				数学	国語	理科	自立	自立	自立

